



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社GENOVA 上場取引所 東
 コード番号 9341 URL https://genova.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平瀬 智樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 武田 幸治 TEL 03 (5766) 1820
 定時株主総会開催予定日 2023年6月22日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家及び個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	6,513	35.6	1,733	64.4	1,714	61.9	1,260	83.6
2022年3月期	4,802	27.4	1,054	32.0	1,059	31.7	686	9.0

(注) 包括利益 2023年3月期 1,262百万円 (85.0%) 2022年3月期 682百万円 (8.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	76.61	73.05	45.6	41.7	26.6
2022年3月期	42.96	—	60.9	45.2	22.0

(注) 当社は、2021年6月10日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っており、2022年8月19日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	5,414	4,046	74.6	229.47
2022年3月期	2,819	1,492	52.7	91.90

(参考) 自己資本 2023年3月期 4,038百万円 2022年3月期 1,487百万円

(注) 当社は、2021年6月10日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っており、2022年8月19日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,203	△113	1,131	3,860
2022年3月期	623	△179	59	1,639

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,921	34.5	848	21.9	847	21.2	578	32.0	32.88
通期	8,482	30.2	2,207	27.3	2,206	28.7	1,505	19.4	85.52

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	17,598,100株	2022年3月期	16,180,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期	0株	2022年3月期	0株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	16,448,087株	2022年3月期	15,971,780株

当社は、2021年6月10日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っており、2022年8月19日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	6,383	36.6	1,697	69.7	1,684	64.6	1,242	86.4
2022年3月期	4,672	28.3	1,000	35.0	1,023	32.3	666	10.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	75.52	72.02
2022年3月期	41.72	—

(注1) 当社は、2021年6月10日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っており、2022年8月19日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(注2) 2023年3月期の当社個別業績と前期実績値との間に差異が生じております。主な要因は契約件数が増加し、前期実績と比較して増加いたしました。利益につきましては契約件数の増加に加え、法人税が賃上げ促進税制の適用等により実効税率が低下したことにより減少したため、前期実績と比較して増加いたしました。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	5,308	3,968	74.8	225.51
2022年3月期	2,722	1,434	52.7	88.65

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,968百万円 2022年3月期 1,434百万円

(注) 当社は、2021年6月10日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っており、2022年8月19日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,871	35.6	837	21.3	572	32.5	32.55
通期	8,362	31.0	2,172	28.9	1,485	19.6	84.40

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年5月12日（金）に機関投資家及び個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載及びTDnetに開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により、持ち直しの兆候も見受けられます。一方で、地政学的な緊張感が続いていることに加え、欧米を中心に金融引き締め傾向が継続しており、これによる我が国の資本市場などへの影響には注意が必要な状況です。

このような事業環境のもと、当連結会計年度においては、メディカルプラットフォーム事業の「MedicalDOC」について顧客事業所数が引き続き順調に推移したことに加え、スマートクリニック事業の「NOMOCaシリーズ」「CLINIC BOT」についても共に顧客事業所数が伸長したことで、増収となりました。売上が伸長する中、人員の採用と、教育・育成への積極投資を継続実施し、新サービス提供に向けた事業提携も積極的に検討してまいりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、以下のとおりです。

①メディカルプラットフォーム事業

メディカルプラットフォーム事業では、医療メディアであるMedical DOCを中心に、医療機関と患者様への適切な医療情報のマッチングを実現しております。その中でも、事業の改善を図る一環として、医療情報に特化した新たなAIチャットボットである「Medical DOC AI™」の開発に着手致しました。超高齢化社会をむかえた現代の日本において健康寿命増進という社会課題を解決すべく、利用者の皆様に一層より適切な情報へアクセスいただくことを目的としております。

また、医療メディアである「Medical DOC」においては、引き続き900万超のPV数を維持しており上昇傾向です。利用者の増加を背景に顧客事業所数が伸長したことにより増収となり、当連結会計年度における契約件数は3,062件となりました。

この結果、セグメント売上高は4,082,759千円（前年同期比41.0%増）、セグメント利益は2,266,550千円（前年同期比56.3%増）となりました。

②スマートクリニック事業

スマートクリニック事業では、主に、クリニックの業務効率化を進め、将来的に「受付0」の運営をできるよう、自動受付精算機とセルフ精算レジを展開しております。新たな取り組みやサービスを検討している中、今期において医療DXの推進を図るべく「GENOVA SMART One」の開発に着手致しました。「GENOVA SMART One」では予約・問診・決済がデジタル上で完結するサービスです。このような新たな商材も含め、医療機関における、「多くの待ち時間と短い診察時間」という課題を医療DXの推進を通じて解決することを引き続き目指します。

新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により、営業活動が活発になりスマート簡易自動精算機/再来受付機及び、CLINIC BOTを中心に顧客への導入が堅調に推移し、当連結会計年度における契約件数は783件となりました。

この結果、セグメント売上高は1,898,790千円（前年同期比51.5%増）、セグメント利益は415,582千円（前年同期比39.4%増）となりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は6,513,466千円（前年同期比35.6%増）となり、営業利益は1,733,937千円（前年同期比64.4%増）、経常利益は1,714,898千円（前年同期比61.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,260,112千円（前年同期比83.6%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比べ2,595,578千円増加し、5,414,923千円となりました。これは主に現金及び預金が2,206,002千円増加したこと、売掛金が272,197千円増加したこと、有形固定資産が44,910千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ41,043千円増加し、1,368,049千円となりました。これは主に短期借入金62,370千円減少したこと、未払費用が51,650千円増加したこと、未払消費税等が62,059千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,554,535千円増加し、4,046,873千円となりました。これは主に株式上場による新株発行や新株予約権の行使により資本金が645,991千円、資本剰余金が645,991千円増加したことや、親会社株主に帰属する当期純利益1,260,112千円を計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,203,079千円（前連結会計年度は623,774千円の収入）となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益1,717,776千円、減価償却費54,259千円、主な減少要因は、売上債権の増加額272,201千円、法人税等の支払額479,416千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、113,450千円（前連結会計年度は179,061千円の支出）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出91,733千円、敷金及び保証金の差入による支出43,642千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,131,226千円（前連結会計年度は59,885千円の収入）となりました。主な増加要因は、株式の発行による収入1,291,983千円であり、主な減少要因は、短期借入金純減少額62,370千円、長期借入金の返済による支出67,288千円であります。

(4) 今後の見通し

今般は新型コロナウイルス感染症が5月ゴールデンウィーク明けより感染症法上の5類に移行し落ち着きを示す一方で、世界情勢は引き続きインフレの継続・金融引き締め、資源価格の高騰、米中対立、ロシアによるウクライナ侵攻継続など、依然として不確実な経済状況が続いております。

そのような中、我が国の少子高齢化は急速に進行し、構造的な人材不足により企業やクリニックの人材確保は深刻さを増しております。柔軟な働き方や副業等の対策は打たれているものの、中長期的な解決としてDXの推進がより一層重要視されてくると見込んでおります。

このような環境下の中、2024年3月期の連結業績の見通しについては、売上高8,482百万円（前年同期比30.2%増）、営業利益2,207百万円（前年同期比27.3%増）、経常利益2,206百万円（前年同期比28.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,505百万円（前年同期比19.4%増）を予想しております。

2024年3月期は新たな分野で新しいニーズの顕在化も期待し、新商材等の立ち上げのため積極的な投資を行いつつ、売上高、売上総利益共に30%を超える成長達成を目標としております。それだけではなく、営業職・管理職の人員一人ひとりの生産性向上をより追求し、過去最高益とともに成長と利益拡大を両立する事業基盤を構築してまいります。売上高の年平均成長率30%以上のサステナブルな成長の実現に向けて、戦略的な投資を実施してまいります。

上記の連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大は経済や企業活動に広範な影響を与える事象ではありますが、当社事業においては、現時点ではその影響は軽微であります。なお、収束せず新型コロナウイルス感染症が拡大し、影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を採用していますが、IFRS（国際財務報告基準）については、今後も制度動向等を注視し適切に対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,654,504	3,860,506
売掛金	723,120	995,318
商品	15,605	14,273
仕掛品	9,327	6,598
その他	70,812	121,809
貸倒引当金	△32,887	△23,646
流動資産合計	2,440,482	4,974,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	99,098	130,429
車両運搬具	11,928	18,423
工具、器具及び備品	49,807	103,814
リース資産	19,202	19,202
減価償却累計額	△72,101	△119,024
有形固定資産合計	107,936	152,847
無形固定資産		
その他	5,042	4,916
無形固定資産合計	5,042	4,916
投資その他の資産		
投資有価証券	11,556	692
敷金	169,993	192,337
繰延税金資産	63,604	68,489
その他	20,728	20,780
投資その他の資産合計	265,883	282,299
固定資産合計	378,862	440,063
資産合計	2,819,344	5,414,923

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	110,170	159,551
短期借入金	62,370	—
1年内返済予定の長期借入金	28,788	19,128
リース債務	5,598	2,178
未払金	149,904	183,490
未払費用	134,228	185,878
未払法人税等	322,268	307,129
未払消費税等	91,970	154,030
契約負債	281,336	249,119
賞与引当金	15,000	45,000
その他	29,565	29,199
流動負債合計	1,231,200	1,334,706
固定負債		
長期借入金	64,569	6,941
リース債務	2,178	—
その他	29,057	26,401
固定負債合計	95,805	33,342
負債合計	1,327,006	1,368,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	115,000	760,991
資本剰余金	15,000	660,991
利益剰余金	1,354,597	2,614,710
株主資本合計	1,484,597	4,036,693
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,404	1,687
その他の包括利益累計額合計	2,404	1,687
非支配株主持分	5,336	8,492
純資産合計	1,492,338	4,046,873
負債純資産合計	2,819,344	5,414,923

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	4,802,057	6,513,466
売上原価	1,304,459	1,723,556
売上総利益	3,497,597	4,789,910
販売費及び一般管理費	2,442,920	3,055,973
営業利益	1,054,676	1,733,937
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	160	137
解約金収入	6,594	4,213
受取手数料	2,392	2,036
消費税差額	1,642	—
その他	432	2,210
営業外収益合計	11,221	8,597
営業外費用		
支払利息	2,151	1,521
為替差損	3,649	—
固定資産除却損	611	—
株式公開費用	—	25,500
その他	5	614
営業外費用合計	6,418	27,635
経常利益	1,059,480	1,714,898
特別利益		
固定資産売却益	—	2,394
子会社清算益	—	3,174
特別利益合計	—	5,568
特別損失		
関係会社株式売却損	613	—
子会社清算損	—	2,690
特別損失合計	613	2,690
税金等調整前当期純利益	1,058,867	1,717,776
法人税、住民税及び事業税	364,985	459,392
法人税等調整額	5,623	△4,884
法人税等合計	370,608	454,508
当期純利益	688,258	1,263,268
非支配株主に帰属する当期純利益	1,988	3,156
親会社株主に帰属する当期純利益	686,269	1,260,112

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	688,258	1,263,268
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5,833	△716
その他の包括利益合計	△5,833	△716
包括利益	682,424	1,262,552
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	680,435	1,259,395
非支配株主に係る包括利益	1,988	3,156

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	100,000	—	659,907	759,907
当期変動額				
新株の発行				
新株の発行(新株予約権の行使)	15,000	15,000		30,000
親会社株主に帰属する当期純利益			686,269	686,269
連結除外に伴う利益剰余金の増加額			8,420	8,420
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	15,000	15,000	694,690	724,690
当期末残高	115,000	15,000	1,354,597	1,484,597

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	8,237	8,237	200	8,489	776,835
当期変動額					
新株の発行					—
新株の発行(新株予約権の行使)					30,000
親会社株主に帰属する当期純利益					686,269
連結除外に伴う利益剰余金の増加額					8,420
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△5,833	△5,833	△200	△3,153	△9,187
当期変動額合計	△5,833	△5,833	△200	△3,153	715,503
当期末残高	2,404	2,404	—	5,336	1,492,338

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	115,000	15,000	1,354,597	1,484,597
当期変動額				
新株の発行	602,866	602,866		1,205,733
新株の発行（新株予約権の行使）	43,125	43,125		86,250
親会社株主に帰属する当期純利益			1,260,112	1,260,112
連結除外に伴う利益剰余金の増加額				
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	645,991	645,991	1,260,112	2,552,095
当期末残高	760,991	660,991	2,614,710	4,036,693

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	2,404	2,404	－	5,336	1,492,338
当期変動額					
新株の発行					1,205,733
新株の発行（新株予約権の行使）					86,250
親会社株主に帰属する当期純利益					1,260,112
連結除外に伴う利益剰余金の増加額					－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△716	△716	－	3,156	2,439
当期変動額合計	△716	△716	－	3,156	2,554,535
当期末残高	1,687	1,687	－	8,492	4,046,873

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,058,867	1,717,776
減価償却費	37,302	54,259
のれん償却額	1,275	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,954	△9,241
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,500	30,000
固定資産売却益	—	△2,394
子会社清算損益 (△は益)	—	△483
受取利息及び受取配当金	△160	△137
支払利息	2,151	1,521
株式公開費用	—	25,500
売上債権の増減額 (△は増加)	△343,154	△272,201
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5,597	4,059
仕入債務の増減額 (△は減少)	23,620	49,382
契約負債の増減額 (△は減少)	281,336	△32,217
前受金の増減額 (△は減少)	△273,621	—
その他	124,753	117,971
小計	899,514	1,683,796
利息及び配当金の受取額	159	137
利息の支払額	△2,207	△1,437
法人税等の支払額	△273,692	△479,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	623,774	1,203,079
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	15,001
有形固定資産の取得による支出	△110,411	△91,733
無形固定資産の取得による支出	△4,891	△1,659
有形固定資産の売却による収入	—	4,110
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△4,616	—
子会社の清算による収入	—	4,469
敷金及び保証金の差入による支出	△93,212	△43,642
敷金及び保証金の回収による収入	35,501	1,432
その他	△1,430	△1,430
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179,061	△113,450
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	39,870	△62,370
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△53,933	△67,288
株式の発行による収入	29,800	1,291,983
リース債務の返済による支出	△5,851	△5,598
株式公開費用の支出	—	△25,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	59,885	1,131,226
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,479	148
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	506,078	2,221,003
現金及び現金同等物の期首残高	1,151,428	1,639,503
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△18,003	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,639,503	3,860,506

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、「メディカルプラットフォーム事業」、「スマートクリニック事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成する為に採用される会計方針に準拠した方法であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2, 3)	連結 財務諸表 計上額 (注4)
	メディカル プラットフォーム 事業	スマート クリニック 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,896,096	1,253,058	4,149,154	652,902	4,802,057	—	4,802,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,896,096	1,253,058	4,149,154	652,902	4,802,057	—	4,802,057
セグメント利益	1,449,944	298,092	1,748,036	230,938	1,978,974	△924,297	1,054,676
セグメント資産	560,326	285,088	845,415	123,503	968,919	1,850,425	2,819,344
その他の項目							
減価償却費	15,298	6,661	21,959	3,183	25,142	12,160	37,302
のれん償却額	314	21	336	938	1,275	—	1,275
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	49,292	21,478	70,771	11,070	81,841	41,167	123,009

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△924,297千円は報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント資産の調整額1,850,425千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2, 3)	連結 財務諸表 計上額 (注4)
	メディカル プラットフォーム 事業	スマート クリニック 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,082,759	1,898,790	5,981,550	531,915	6,513,466	—	6,513,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,082,759	1,898,790	5,981,550	531,915	6,513,466	—	6,513,466
セグメント利益	2,266,550	415,582	2,682,133	160,491	2,842,624	△1,108,687	1,733,937
セグメント資産	827,618	425,849	1,253,468	131,461	1,384,929	4,029,993	5,414,923
その他の項目							
減価償却費	23,707	10,601	34,309	4,332	38,642	15,617	54,259
のれん償却額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	47,983	27,442	75,426	12,137	87,564	12,820	100,384

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,108,687千円は報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント資産の調整額4,029,993千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	メディカルプラットフォーム事業	スマートクリニック事業	計		
一時点で移転される財	2,808,035	1,031,978	3,840,013	324,006	4,164,019
一定の期間にわたり移転される財	88,060	221,080	309,141	328,896	638,037
顧客との契約から生じる収益	2,896,096	1,253,058	4,149,154	652,902	4,802,057
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,896,096	1,253,058	4,149,154	652,902	4,802,057

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	メディカルプラットフォーム事業	スマートクリニック事業	計		
一時点で移転される財	3,986,446	1,567,350	5,553,796	212,001	5,765,798
一定の期間にわたり移転される財	96,313	331,440	427,754	319,914	747,668
顧客との契約から生じる収益	4,082,759	1,898,790	5,981,550	531,915	6,513,466
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,082,759	1,898,790	5,981,550	531,915	6,513,466

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	91.90円	229.47円
1株当たり当期純利益	42.96円	76.61円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	73.05円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
2. 当社は、2022年12月23日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から当連結会計年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 当社は、2021年6月10日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っており、2022年8月19日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後当期純利益を算定しております。
4. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	686,269	1,260,112
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	686,269	1,260,112
普通株式の期中平均株式数(株)	15,971,780	16,448,087
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	800,317
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2017年12月13日取締役会決議第3回新株予約権(新株予約権の数357個) 2020年10月13日取締役会決議第5回新株予約権(新株予約権の数120個)	—

(重要な後発事象)

第7回新株予約権（有償ストック・オプション）の発行

2023年5月1日開催の当社取締役会において、当社の従業員に対して、有償ストック・オプションとして新株予約権を発行することを決議しております。

決議年月日	2023年5月1日
付与対象者の区分及び人数	当社従業員 9名
新株予約権の数	2,049個
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	204,900株
新株予約権の払込金額	1,400円/個
新株予約権の行使期間	2025年7月1日から2031年5月18日まで
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格	1,251円/株

第8回新株予約権（株式報酬型ストックオプション）の発行

2023年5月1日開催の取締役会において、当社従業員に対する株式報酬型ストック・オプションを発行することを決議いたしました。

決議年月日	2023年5月1日
付与対象者の区分及び人数	当社従業員 9名
新株予約権の数	1,890個
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	189,000株
新株予約権の払込金額	本新株予約権の割当日においてブラック・ショールズ・モデルにより算定される公正な評価額とする。ただし、当社は、本新株予約権の割当てを受ける者に対し、本新株予約権の払込金額の総額に相当する金銭報酬を支給することとし、この報酬請求権と本新株予約権の払込金額の払込債務とを相殺する。
新株予約権の行使期間	2024年5月20日から2029年5月19日まで
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格	1円/株